

上野原縄文の森 だより

2004.8
vol.6

UENOHARA JOMON NO MORI



カブトムシJOYリンピック
～JOYJOYじょうもん体験～
1日2日体験 7/24.25

コラム テーマ 「ドングリとネズミの知恵比べ」

果実というと柿のようにおいしい果物を想像するが、植物学では子房が変化した部分を果実ということになっている。おいしいもの、まずいもの、食べられないものを含めて共通な考え方を。ドングリは二つの部分からできている。皆さんがベレー帽といっている枝と繋がっているキャップは殻斗(かくと)といわれ、花の基部にある包葉が変化したもので、これは果実には入らない。殻斗を除いた部分が果実であり、果実の堅い果皮は子房壁の変化したものである。その果皮をおくとたねが出てくる。たねの表面をおおっている渋皮が種皮である。堅い果皮は種子の乾燥や昆虫の被食をさける砦である。将来芽となる胚は果実の先端部分にある。殻斗は枝から果実への栄養の通路であり、硬い壁を作る訳にはいかない。これがドングリの弱点である。

ドングリの害虫であるゾウムシのなかまは、この柔らかい殻斗に産卵し、幼虫は果実の中に侵入、成長し、種子を食べて果皮に丸い穴をあけて脱出する。種子を全部食べる訳でなく、食べ残した部分に胚が残っていれば発芽することもあるが、残されている栄養部分が少ないため成長することは稀である。

親木から離れて落下した果実は発芽を始め、ドングリの先端のとがった部分から芽(正確には胚軸といわれる)が伸び出し地中に深く入る。胚軸の先端部から髭のような根が出て、水分を吸収する。この頃種子からの栄養が胚軸に移動して胚軸がかなり太くなる。ダイコンみたいな感じである。この時果実の中は空である。ネズミがドングリを見つけてかじっても、中は空っぽという訳だ。

大きな果実をならず樹種には、果実の不作と豊作の年とがある。大きな果実を毎年沢山ならずと、親木の成長にまわす栄養が足りなくなるので、果実を生産しない年がある。豊作年にネズミが多くの子供を生んでも、翌年には凶年となって、動物の増え方を制御することにもなる。竹の開花とネズミの大発生とが同調している事実はよく知られている。

塩谷克典さんの実験によると、ネズミは健全なドングリより中に昆虫の幼虫が入ったドングリを好んで食べるという。澱粉質だけではなく、蛋白源としてドングリを利用している賢明さも持ち合わせている。中に昆虫の幼虫が入っていることをどのようにして認識しているのか興味がある。

上野原縄文の森園長 田川 日出夫



発掘された墓や祭祀に関する資料を
展示し、鹿見島に生きた先人たちの心
に迫りました。

遺物に込められた祈りを、そして、
「生」と「死」に対する思いを感じて
みてください。



軽石製石棺

(原田地下式横穴墓 有明町)

軽石で作られた石棺の内壁は赤く塗られていました。

この棺に埋葬されていた人はどのような人だったのでしょうか。



平松遺跡 (姪良町)

ほか

土器や鏡、人骨などの中には、赤く塗られたものがあります。
先人たちは、赤にどのような思いを込めたのでしょうか。



大隅地方に広がる古墳の分布と古墳の大きさを模型で紹介。

30分の1で作られた模型は、家庭でも簡単に作ることができます。展示室で作り方を配布していますので、夏休みにチャレンジしてみは？！



テーマ

赤にたくされた想ひ
引きつがれる命
再生への祈り

次回の企画展は・・・

「発掘された鹿見島の文様」(10月23日～)です。

TOPICS

H16.4月～H16.6月

大盛況 縄文の森 “春まつり”

縄文の森では、5月3日から5日のゴールデンウィークの3日間にわたり、春まつりを開催しました。前半は、天候に悩まされましたが、3日間とも展示館内の見学や体験学習館とその周辺での体験活動・催し物・出店などたくさんの家族連れでにぎわい、春まつり開催期間中の3日間で約1万人が訪れ大盛況でした。秋祭り(10月2・3日)もぜひ、お越しください。



▲▼オープニング



入園者30万人突破!



30万人目の上田さん(右から3人目)
前の藤井さん(右から2人目)
後の寺本さん(左から3人目)



内村副園長から30万人目
の上田さんへ記念品の贈呈

5月29日、縄文の森の入園者数が30万人を突破しました。幸運の30万人目となったのは、北九州市八幡西区の上田時子さん。記念セレモニーでは、職員も縄文服を身にまとい、上田さんと前後の2人の方に、手づくりの石斧と特産の黒酢をプレゼントしました。3人とも突然の出来事に、「来てよかった。良い思い出になりました。」と喜びを語っていました。

関西地区の「かごしまファン」に縄文の森をPR

6月6日に大阪市(大阪ドーム)で行われた第2回「関西かごしまファンデー」に縄文の森からも出展し、関西在住の県出身者や一般の方々に縄文の森を広くPRしました。当日は、約2万8千人もの方々が集まりました。



出展の様子



すごい人の数でした

森の逸品

東九州自動車道建設に伴う発掘調査により、福山町城ヶ尾遺跡から出土した縄文時代早期後半(約6500年前)の塞ノ神式土器と呼ばれる壺形土器です。穴を掘った中に土器を埋めた状態で発見されました。

土器の形は、左右の肩が大きく張り出し、丸く仕上げた特徴的な形状です。文様は、頸部全面(張り出した肩より上部)にヘラを使って丁寧に施されています。丁寧に埋納していることから、単に土器を破棄するというのではなく、「祭祀的な要素をもった」ものと考えられ、当時の人々の思想を知るうえで貴重な資料といえます。

今年4月、県の文化財に指定されました。

④ 塞ノ神式土器



九州新幹線開業記念特別企画展

第8回特別企画展 (平成16年4月24日~7月11日)

レールの下の物語は盛況のうちに終了しました

鹿児島県立埋蔵文化財センターでは、新幹線の線路や施設などの建設に伴い、平成5年度から8年間で、18遺跡の埋蔵文化財の発掘調査を行いました。



九州新幹線開業を記念し、新幹線のレールの下に眠る遺跡の一部を紹介しました。



▲▼ 講演会



初展示!

京田遺跡 (川内市) 出土木簡



今から約1100年前の平安時代に木の棒に書かれた文字が確認されました。水田を差し押さえるという内容のことが書かれていました。今回は、ゴールデンウィークと講演会の4日間に限り、特別展示しました。

ジョイJOYじょうもん体験
6月19日 1日体験 (第1回)
縄文のムラをつくらう

ジョイJOYじょうもん体験は、上野原縄文の森の四季を彩る大自然とふれあい学び、楽しみながらの体験を通して、縄文の森に親しんでもらうとともに、古代への関心をもってもらうことを目的とした事業です。



紙わん土と針金で住居や縄文人、動物・・・を作っている様子



テレビ放送の取材をうけている様子

参加者の一人一人が、縄文時代の「ムラ」のイメージをふくらませ、思い思いの縄文のムラを作りあげました。この日、参加した皆さん、子どもも大人も時を忘れ、ムラの作成に夢中になっていました。出来上がった作品は皆さん満足して持ち帰り、お店にはない世界に一つだけの貴重なインテリアとしてお家に飾られることでしょう...



展示館のジオラマをじっくりと見学している様子



土台に土坑や遺構を作っている様子



仕上げの色めりをしている様子
完成間近!



完成作品を前に記念撮影

イベント情報 (8~11月) in 上野原縄文の森

夏・まっ盛り!

夏の思い出を縄文の森で・・・

いつものことですが、夏ってホントに暑いですよ・・・みなさんは、今年の夏をいかがお過ごしでしょうか?

夏の楽しみは、海水浴・お祭り・花火大会・旅行・ビアガーデン・・・と人それぞれだけど、人ごみはうんざり!と思っている方、もう満喫したという方、どこに行こうかな?と悩んでいる方・・・それ以外のどなたでも、清々しい夏の風目に優しい緑、眩しいこもれび・・・大自然の息吹を感じてみたい!という方は、縄文の森で過ごしてみませんか?



秋の訪れを味わい

自然を感じるのも縄文の森で・・・

夏が去れば、過ごしやすい秋の到来! 夏を満喫した方もそうでない方も、縄文の森の大自然を感じてみませんか? きっと、身も心も癒されますよ・・・

縄文の森の秋は、空気がおいしくて、復元集落や展望所などから霧島連山の高千穂や韓国岳などがよく見え感動的です。ぜひ、お弁当持参で一日ゆっくりお過ごしください。

10月

2日(土)～3日(日)

縄文の森 秋まつり

内容 民俗芸能大会、音楽祭、縄文出店、縄文の名工になろう(土器・石器づくり)、土器野焼きなど

23日(土) (どんぐり倶楽部主催)

内容 「草すべり」

11月

6日(土)

ウォーキング in 上野原縄文の森

27日(土) (どんぐり倶楽部主催)

内容 「野鳥観察と連だこづくり」

8月

21日(土)～22日(日)

ジョイJOYじょうもん体験(1泊2日)

内容 縄文土器を作ろう
古代の生活具を使って遊ぼう
縄文まつり
(火を囲んでのレクリエーション)
竪穴住居に泊まろう
縄文料理を作ろう

※応募は締め切りました

28日(土) (どんぐり倶楽部主催)

内容 「野外炊飯体験」

9月

5日(日) (国分市陸上競技連盟主催)

第6回国分縄文の森ジョギング大会

11日(土) (どんぐり倶楽部主催)

内容 「竹細工づくり」

18日(土)

ジョイJOYじょうもん体験(1日)

内容 「木の実で遊ぶ1日」

25日(土) (どんぐり倶楽部主催)

内容 「十五夜行事体験」



※体験学習館では、随時、体験活動を行っています。
アクセサリづくり・火おこしなどができ、縄文時代をはじめとした昔の人々の暮らしについて、学習することが出来ます。
(時間/10:00～16:00 内容によっては予約が必要となります。)

上野原縄文の森支援友の会

どんぐり 倶楽部



通信④

上野原縄文の森支援友の会は、発足2年目に入り、昨年度以上に充実した活動を目指しています。

5月3日から5日にかけて行われた「春まつり」では、日替わり体験(昔あそび、アートバルーン、折り紙)やどんぐりうどんの販売を通して多くの来園者の方々に好評を得ることが出来ました。また、今年度も月1回程度の主催事業を開催しています。

5月22日には、「紙とんぼ作りと縄文手品にチャレンジ」、6月24日には「巣箱づくりと野鳥観察(1)」を行いました。子どもたちのいきいきとした表情や、保護者の方々の童心に返って活動されている様子が印象的でした。

上野原でしかできない体験、上野原だからこそできる体験、そうしたことにこだわりながらも地域の良さや伝統を活かしながら、上野原縄文の森の発展充実のために、また、来園される方々の思い作りのお手伝いに、今年も力を入れていきたいと思ひます。

今後とも上野原縄文の森支援友の会をよろしくお願ひします。

会長 植村春人

どんぐり倶楽部 活動報告



▲5/3~5/5
春まつり出店の様子



▲5/22
縄文手品にチャレンジ!



▲5/22
紙とんぼづくり体験



▲6/26
巣箱づくり体験

「どんぐり倶楽部」主催イベント

- 8月28日(土)「野外炊飯体験」
 - 9月11日(土)「竹細工づくり」
 - 9月25日(土)「十五夜行事体験」
 - 10月23日(土)「草すべり」
 - 11月27日(土)「野鳥観察と連だこづくり」
- ※毎月第4土曜日を
中心に、体験イ
ベントを開催してい
く予定です。

※参加申し込みなど詳しくは、事務局(縄文の森内)
TEL 0995-48-5701までお問い合わせください。

会員募集中!!



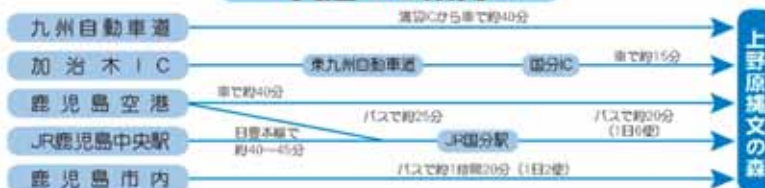
あなたの特技
活かしてみませんか?

- 活動内容
- ・縄文の森主催体験事業の指導補助
 - ・体験メニューの開発 など

詳しくは、どんぐり倶楽部事務局(縄文の森内)
TEL 0995-48-5701までお問い合わせください。

- 【開園時間】午前9時~午後5時 (7月1日~8月31日は午前9時~午後7時)
【休園日】毎月第1・第3月曜日 (休日の場合は翌日)
(4月29日~5月5日、7月21日~8月31日は無休)
12月30日~1月1日 (年末年始)
- 【観覧料】(団体は20名以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料
- ◆個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円
 - ◆団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円
- (県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として観覧するとき等は減免措置有り)

交通のご案内



【編集・発行】財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
〒899-4314 鹿児島県国分市川内1376番地1 電話 (0995) 48-5701 FAX (0995) 48-5704
URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail : uenohara@jomon-no-mori.jp